

FACT①

パートナーと共に創る品質 「安全体感研修」を全国展開

『キリン品質』の物流サービスが、日本で一番お客様に信頼されている。～小さな日本一を、パートナーと共に、たくさん創る～——キリングroupロジスティクス（KGL）が掲げる経営ビジョンだ。その実現に向けた取り組みと具体的な成果をシリーズで紹介していく。

キリン
品質

運びきる

力があります。

提案力

に自信があります。

品質

にごお届けします。

受講者にインパクト

キリングroupロジスティクス（KGL）安全・品質・環境室の鶴田秀樹は、全身傷だらけのマネキン人形と共に、全国各地の物流拠点を行脚する毎日を送っている。午前便の配送車が帰庫した後の待機時間や隙間時間などさまざまな機会を利用して、パートナー会社のドライバーを対象に「安全体感研修」を行っている。

荷役作業中の転落や挟まれ事故を、受講者に代わって人形が実演する。保護具の装着指導では、人の頭と同じ硬さといわれるカポチャを荷台から落下させてヘルメットの着用効果を実際に見せる。「うわっ」「痛っ！」と受講者から思わず声上がる。「危険を体感して心に刻むことで初めて意識が変わり、行動が変わる。そのために安全のポイントを、より分かりやすくインパクトを持って伝えることを常に心掛けている」と鶴田は言う。見せ方に工夫を重ね、テンポの良い関西弁と巧みな話術で受講者を引き込んでいく。

毎回、研修終了後に人形を修理するが、フォークリフトにひかれたり荷台から落とされたり、日ごとに傷は増えていく。しかし、そのかいあって、事故の怖さを肌で感じ、正しく行動する大切さを実感できたと受講者からは好評だ。噂を聞きつけた同業他社から「ぜひ研修の講師に」と依



安全・品質・環境室 鶴田秀樹

頼されることもある。当初はKGLの支店で半日～1日かけて実施する集合研修としてスタートしたが、受講するドライバーの利便性を高めるため、荷積み前の待機時間を利用する「待機型」や、希望の場所に向く「出前（出張）型」を加え、3タイプとした。2016年9月から12月の3カ月余りで97社・413人が受講した。鶴田は「安全確保とは自らの命を守り、家族の生活を守ること。事故は誰も幸せにしない。1人でも多くのドライバーに安全を訴求していきたい」と意気込む。

KGLと直接運送契約を結んでいる1次パートナーだけでなく2次、3次のパートナーでも要望があれば研修に出向く。KGLの加藤元社長は「ドライバーの安全は会社で守る。そのために必要なのは配置する。さらに会社の壁を越え、業界のために数多くの方に安全訴求を行ってほしい」と活動を後押ししている。

輝



研修の締めは「タッチ・アンド・コール」。講師とドライバーたち、そしてパートナー企業の経営層が円陣を組み、左手を隣の人の肩に乗せて指差し唱和する

物流に関するご相談・お問い合わせ <http://www.kirin-logistics.co.jp/>



キリングroupロジスティクス株式会社

〒164-0001 東京都中野区中野4-10-2 中野セントラルパークサウス

キリングroupプロジ

